

5回生 選択科目「地理A」授業のシラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理A	単位数	2単位
科目の目標	○現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
教科書	高等学校新地理A（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）		副教材	最新地理図表 GEO（第一学習社）	

1 学習の目標

- 現代世界の諸課題を地理的に追求、考察する力を身に付ける。
- 地理的な見方や考え方及び地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付ける。

2 学習の方法

- 予習について
○地理は、身近な地域の問題から世界規模の環境・エネルギー問題まで、現代社会が抱えるさまざまな問題と密接に関係しています。そこで、新聞やニュースに日頃から関心をもち、「なぜ」「どうして」と疑問を持ってください。
- 授業について
○教科書に沿って、基本的な事項・事柄を学習します。定期考査は授業内容から出題します。
- 復習について
○授業後、次の授業前までにノートを開き、学習した内容を思い出して下さい。その際、わからないことがあったら教科書・資料集などを用いて確認しましょう。

〈学習アドバイス〉	
○メモ、ノートの書き方・写し方～理解しやすいメモ、ノート術	
ノートは、授業内容を理解し記憶するための道具です。板書を写しただけのノートは、授業内容を思い出しにくく理解しにくい。ため、授業で先生が説明した内容を線や図で書き込むなど、先生の説明した話や余談も、どんどんノートの余白に書き込んでください。	
○地理は、「なぜ」そのようになっているのか「地域の理」（土地のさまざまな事象を記録し、そこから法則を見いだすこと）を明らかにします。そのため、 <u>法則性（見方・考え方）</u> が問われるのであって、教科書の記述がそのまま問題として出題されるものではありません。教科書の記述内容を覚えても得点につながりません。	

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
②思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、適切に表現する。
③資料活用・技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。
④知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	定期考査	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議	姿勢態度	
①関心・意欲・態度						○			○			○	
②思考・判断・表現		◎		○									
③資料活用・技能		◎		○									
④知識・理解		◎		○									

〈担当者からのメッセージ〉
○地理は、身近な地域の問題から世界規模の環境・エネルギー問題まで、現代社会が抱えるさまざまな問題がテーマです。地理を学習することで、日本人として、グローバル世界の一員としてどうあるべきかを考えていきましょう。

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心	情報活用力	調整力				自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を理解し、整理・分析をすることができ、論理的に示すことができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合えることができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション	1年間の学習内容 (1)			
5	第1編 現代世界の特徴と見方・考え方 1章 球面上の世界と地域構成	1 球面上の世界 (1) 2 平面上の世界 (1) 3 日本の位置と領域 (1) 4 略地図をえがこう (1)	○標準時と時差について理解し、時差を計算することができる。 ①・②・④ ○各図法の特徴と欠点を理解し、メルカトル図法と正距方位図法を使って、日本の位置や日本を中心とした方位・距離を求めることができる。③・④		ABCDELM
6	2章 結びつく現代世界	1 交通・通信の発達と世界の一体化 (2) 2 さまざまな人の移動と結びつく世界 (2) 3 もので結びつく世界 (2) 4 国家間の結びつき (1)	○主な国の貨物、旅客輸送の輸送機関別特徴を資料を活用して考察することができる。②・③ ○さまざまな通信システムの特徴とその利用の変化、地域による情報格差などを理解することができる。②・④ ○人、もの、資本の移動により、国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解し、その知識を身に付けている。①・②・③・④	1学期中間考查	ABCDELM
7	3章 多様さを増す人間行動と現代世界	1 多様化する消費生活 (1) 2 多様化する余暇活動 (1)	○身近な消費生活、余暇活動やその地理的空間の変化に、まず関心を持ち、世界の消費生活、余暇活動と比較して、地域性を理解する。①・②・④		ABCDELM
8	第2編 世界の生活・文化 1章 世界的視野から見た自然環境と文化	1 生活の舞台としての地形 (4) 2 生活の舞台としての気候 (6)	○地形図の読図、雨温図の読み取りなどの作業を通して、日本の自然環境を世界に位置付けて考察することができる。②・③ ○さまざまな地形上で営まれている人々の生活とのかかりについて理解することができる。 ①・④ ○世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているかを理解することができる。③・④		ABCDELM
9	2章 諸地域の生活・文化と環境	1 ヨーロッパの生活・文化と環境 (3) 2 北アメリカの生活・文化と環境 (3) 3 中部・南アメリカの生活・文化と環境 (2) 4 オセアニアの生活・文化と環境 (3) 5 東南アジアの生活・文化と環境 (3) 6 南アジアの生活・文化と環境 (3) 7 西アジア・北アフリカの生活・文化と環境 (2)	○世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、広い視野から異文化を理解・尊重することを理解している。 ①・②・③・④	1学期期末考查	ABCDELM
10	3章 近隣諸国の生活・文化と日本	1 韓国の生活・文化と日本 (2) 2 中国の生活・文化と日本 (3)	○日本の近隣諸国である韓国、中国の産業や生活・文化は、長い歴史や自然環境に影響を受けていることを学び、一方で現代世界の国際化・情報化の進展などによって、その国の生活・文化が大きな影響を受けていることを理解することができる。 ①・②・③・④	2学期中間考查	ABCDELM
11	第3編 現代世界の課題 1章 さまざまな地球的課題	1 世界の人口問題 (1) 2 世界の食料問題 (1) 3 世界の資源・エネルギー問題 (1) 4 世界の都市問題 (1) 5 世界の環境問題 (1)	○現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解することができる。①・②・③・④	2学期期末考查	ABCDELM

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【思考・判断・表現】→②、【資料活用の技能】→③、【知識・理解】→④として表現しています。